



## 2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月11日  
上場取引所 東

上場会社名 森永製菓株式会社

コード番号 2201

URL <https://www.morinaga.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 太田 栄二郎

問合せ先責任者(役職名) 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長(氏名) 国近 文子 (TEL) 03-3456-0150

四半期報告書提出予定日 2021年8月12日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	44,563	10.8	6,255	17.7	6,736	18.0	4,830	20.4
2021年3月期第1四半期	40,234	-	5,314	-	5,708	-	4,013	-

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 5,258百万円(△17.0%) 2021年3月期第1四半期 6,334百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	96.04	-
2021年3月期第1四半期	79.79	-

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2021年3月期第1四半期に係る各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。これにより、2021年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	207,196	124,937	59.8
2021年3月期	202,910	123,706	60.5

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 123,890百万円 2021年3月期 122,791百万円

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2021年3月期に係る各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	-	0.00	-	80.00	80.00
2022年3月期	-	-	-	-	-
2022年3月期(予想)	-	0.00	-	80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	91,000	7.1	11,300	△2.2	11,700	△2.3	7,900	△5.1	157.06
通期	175,000	4.0	17,000	△11.4	17,400	△12.0	11,700	△12.8	232.61

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しており、対前期及び対前年同四半期増減率については、2021年3月期に当該会計基準等を適用したと仮定して算定した増減率を記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	54,189,769株	2021年3月期	54,189,769株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	3,891,815株	2021年3月期	3,891,130株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	50,298,101株	2021年3月期1Q	50,301,086株

※期末自己株式数には、役員報酬BIP信託が保有する当社株式(2022年3月期1Q 24,564株、2021年3月期 24,564株)が含まれております。また、役員報酬BIP信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、適正な情報に基づき作成したものでありますが、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度との比較・分析を行っております。

## (1) 経営成績に関する説明

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大により様々な経済活動への制約が続く中、ワクチン接種の普及などで人流が増加傾向で推移するなど、経済活動が徐々に正常化に動き出す向きもありましたが、2021年7月には4度目の緊急事態宣言が東京都を対象に発出されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、全体では445億6千3百万円と前年同期実績に比べ43億2千9百万円（10.8%）の増収となりました。

損益は、売上高の増収により、営業利益は前年同期実績に比べ9億4千1百万円（17.7%）増益の62億5千5百万円、経常利益も前年同期実績に比べ10億2千8百万円（18.0%）増益の67億3千6百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期実績に比べ8億1千7百万円（20.4%）増益の48億3千万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## &lt;食料品製造事業&gt;

## 菓子食品部門

国内主力ブランドでは、「森永ビスケット」が定番品に加え、季節限定品も好調に推移し、前年同期実績を大きく上回りました。「ハイチュウ」「チョコボール」は前年の大幅な売上減少の反動もあり前年同期実績を上回りました。「森永ラムネ」は新商品が好調に推移しました。「ダース」「カレ・ド・ショコラ」「森永甘酒」「森永ココア」は前年同期実績を下回りましたが、主力ブランド全体では前年同期実績を上回りました。その他のブランドでは、「森永ホットケーキミックス」は巣ごもり需要が落ち着いたこともあり前年同期実績を下回りましたが、国内全体では前年同期実績を上回りました。

海外では、ワクチン接種の普及などで経済活動の正常化がみられたこともあり、米国、中国が好調に推移しました。台湾では今年発売30周年を迎えた「ミルクキャラメル」が好調に推移したこともあり、海外全体では前年同期実績を大きく上回りました。

これらの結果、菓子食品部門全体の売上高は211億1千5百万円と前年同期実績に比べ10億2千3百万円（5.1%）増となりました。

損益は、海外が好調に推移したことで、営業利益は前年同期実績に比べ1億7千万円（10.1%）増益の18億5千万円となりました。

## 冷菓部門

主力ブランドの「ジャンボ」グループ、「アイスボックス」は、積極的なプロモーションを展開しましたが前年の大幅な売上拡大の反動もあり苦戦しました。その他のブランドでは、コンテンツとのコラボレーションを展開した効果もあり「板チョコアイス」「パキシエル」が好調に推移しました。

これらの結果、冷菓部門全体の売上高は118億6百万円と前年同期実績に比べ2百万円（0.0%）増となりました。

損益は、原価改善、販売費及び一般管理費の抑制等、コスト削減に取り組んでまいりましたが、営業利益は前年同期実績に比べ3億8千7百万円（15.0%）減益の21億8千9百万円となりました。

## 健康部門

主力ブランドの「i nゼリー」は、前年の大幅な売上減少の反動に加え、自宅トレーニングにおける栄養補給といった飲用シーンの提案、フルーツ食感などの新たなニーズに対応した新商品の展開もあり、前年同期実績を大きく上回りました。「i nバー」は、手軽なタンパク質の摂取ニーズを訴求するとともに、在宅ワークにおける間食需要も取り込んだことで前年同期実績を大きく上回りました。

通販事業は、積極的なプロモーションの展開によって「おいしいコラーゲンドリンク」が好調に推移し、通販事業全体としても前年同期実績を大きく上回りました。

これらの結果、健康部門全体の売上高は97億2千3百万円と前年同期実績に比べ29億4千8百万円（43.5%）増となりました。

損益は、主要なブランドが好調に推移したことにより、営業利益は前年同期実績に比べ11億4千9百万円（119.5%）増益の21億1千万円となりました。

[主な商品の前年同期比 （単位：％）]

菓子食品部門		冷凍部門	
森永ビスケット	120	ジャンボグループ	87
ハイチュウ	106	アイスボックス	86
森永ラムネ	114	健康部門	
カレ・ド・ショコラ	98	i nゼリー	153
ダース	86	i nバー	139
チョコボール	104	おいしいコラーゲンドリンク	118
森永甘酒	78		
森永ココア	84		
菓子食品主力品計	103		

※表内の数値は国内販売実績にて算出

これらの結果、＜食料品製造事業＞の売上高は426億4千6百万円と前年同期実績に比べ10.3%増となりました。セグメント利益は61億5千万円と前年同期実績に比べ9億3千1百万円の増益となりました。

## ＜食料卸売事業＞

売上高は、12億7千5百万円と前年同期実績に比べ25.9%増となりました。セグメント利益は3千7百万円と前年同期実績に比べ4千7百万円の増益となりました。

## ＜不動産及びサービス事業＞

売上高は、5億円と前年同期実績に比べ19.7%増となりました。セグメント利益は2億4千7百万円と前年同期実績に比べ8千1百万円の増益となりました。

## ＜その他＞

売上高1億4千1百万円、セグメント利益2千7百万円であります。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は2,071億9千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ42億8千6百万円増加しております。主な要因は、有形固定資産のその他（純額）に含まれる建設仮勘定が減少した一方で、受取手形及び売掛金や商品及び製品、機械装置及び運搬具（純額）が増加したことなどによるものであります。

負債の残高は822億5千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ30億5千6百万円増加しております。主な要因は、賞与引当金が減少した一方で、支払手形及び買掛金や流動負債のその他に含まれる預り金が増加したことなどによるものであります。

純資産の残高は1,249億3千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億3千1百万円増加しております。主な要因は、利益剰余金や為替換算調整勘定が増加したことなどによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末より0.7ポイント減少し、59.8%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2021年5月13日発表の業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	31,568	32,220
受取手形及び売掛金	19,934	22,071
商品及び製品	11,430	12,475
仕掛品	319	401
原材料及び貯蔵品	7,962	8,374
未収還付法人税等	795	794
その他	6,078	5,182
貸倒引当金	△43	△43
流動資産合計	78,045	81,477
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	25,773	26,065
機械装置及び運搬具(純額)	23,579	25,871
土地	21,589	21,626
その他(純額)	11,488	9,874
有形固定資産合計	82,431	83,438
無形固定資産		
のれん	196	171
その他	231	224
無形固定資産合計	427	396
投資その他の資産		
投資有価証券	35,583	35,474
退職給付に係る資産	4,548	4,537
繰延税金資産	831	793
その他	1,080	1,115
貸倒引当金	△37	△36
投資その他の資産合計	42,006	41,884
固定資産合計	124,865	125,719
資産合計	202,910	207,196

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,162	20,822
未払金	9,847	9,445
未払法人税等	1,357	1,658
賞与引当金	2,595	1,328
その他	17,619	19,035
流動負債合計	49,583	52,291
固定負債		
長期借入金	10,000	10,000
繰延税金負債	6,852	7,046
役員株式給付引当金	57	64
環境対策引当金	279	279
退職給付に係る負債	7,767	7,923
資産除去債務	262	262
受入敷金保証金	3,706	3,666
その他	694	724
固定負債合計	29,620	29,968
負債合計	79,203	82,259
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,612	18,612
資本剰余金	17,281	17,281
利益剰余金	74,139	74,944
自己株式	△11,291	△11,294
株主資本合計	98,742	99,544
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,729	20,649
繰延ヘッジ損益	23	5
為替換算調整勘定	493	933
退職給付に係る調整累計額	2,803	2,758
その他の包括利益累計額合計	24,049	24,346
非支配株主持分	915	1,046
純資産合計	123,706	124,937
負債純資産合計	202,910	207,196

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
売上高	40,234	44,563
売上原価	22,536	24,860
売上総利益	17,697	19,702
販売費及び一般管理費	12,383	13,447
営業利益	5,314	6,255
営業外収益		
受取利息	0	8
受取配当金	404	453
その他	69	89
営業外収益合計	474	551
営業外費用		
支払利息	7	8
持分法による投資損失	12	16
減価償却費	31	29
その他	28	16
営業外費用合計	79	70
経常利益	5,708	6,736
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産除売却損	143	125
その他	0	—
特別損失合計	143	125
税金等調整前四半期純利益	5,565	6,612
法人税、住民税及び事業税	286	1,406
法人税等調整額	1,216	309
法人税等合計	1,503	1,716
四半期純利益	4,061	4,895
非支配株主に帰属する四半期純利益	48	64
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,013	4,830

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
四半期純利益	4,061	4,895
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,381	△79
繰延ヘッジ損益	△7	△20
為替換算調整勘定	△102	506
退職給付に係る調整額	10	△44
持分法適用会社に対する持分相当額	△8	1
その他の包括利益合計	2,273	363
四半期包括利益	6,334	5,258
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,299	5,127
非支配株主に係る四半期包括利益	34	130

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用により、従来販売促進費等として販売費及び一般管理費に計上しておりました顧客に支払われる対価については売上高から控除する方法、及び従来有償支給時に消滅を認識しておりました支給品については買い戻す義務を負っているため、当該支給品の消滅を認識しない方法等に変更しております。

当該会計方針の変更により、収益認識会計基準等は遡及適用され、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。この結果、遡及適用を行う前と比べて、前連結会計年度の原材料及び貯蔵品は975百万円、流動負債のその他は1,305百万円それぞれ増加しております。また、前第1四半期連結累計期間の売上高は7,370百万円減少し、売上原価は196百万円増加し、販売費及び一般管理費は7,607百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ39百万円増加しております。なお、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前連結会計年度の期首残高は226百万円減少しております。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取り扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響)

当社グループは新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響について、前連結会計年度の有価証券報告書(追加情報)(会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響)に記載の仮定に重要な変更は行っておらず、当該仮定のもと固定資産の減損や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

なお、当該仮定は不確実性が高く、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響が長期化等した場合には、将来の財政状態及び経営成績に重要な影響を与える可能性があります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

- 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報  
前第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	食料品 製 造	食料卸売	不動産 及び サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	38,672	1,012	418	40,104	130	40,234	—	40,234
セグメント間の内部売上高	12	38	0	51	233	284	△284	—
計	38,685	1,051	418	40,155	363	40,519	△284	40,234
セグメント利益又は損失(△)	5,219	△10	166	5,374	29	5,404	△90	5,314

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△90百万円には、セグメント間取引消去4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△108百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	食料品 製 造	食料卸売	不動産 及び サービス	計				
売上高								
菓子食品	21,115	—	—	21,115	—	21,115	—	21,115
冷菓	11,806	—	—	11,806	—	11,806	—	11,806
健康	9,723	—	—	9,723	—	9,723	—	9,723
その他	—	1,275	202	1,477	141	1,618	—	1,618
顧客との契約から生じる 収益	42,646	1,275	202	44,123	141	44,265	—	44,265
その他の収益	—	—	298	298	—	298	—	298
外部顧客への売上高	42,646	1,275	500	44,422	141	44,563	—	44,563
セグメント間の内部売上高	52	61	0	114	227	342	△342	—
計	42,699	1,336	501	44,537	369	44,906	△342	44,563
セグメント利益	6,150	37	247	6,435	27	6,463	△207	6,255

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。

2 セグメント利益の調整額△207百万円には、セグメント間取引消去4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△212百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

「注記事項（会計方針の変更）」に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理の方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の利益又は損失の算定方法により作成したものを記載しております。

また、「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 2020年3月31日）第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報は記載しておりません。

## 3. 補足情報

※ 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しており、2020年3月期 第1四半期及び2021年3月期 第1四半期について、当該会計基準等に基づいた数値としております。

## ① 業績

(単位:百万円)

	2021年3月期 第1四半期		2022年3月期 第1四半期		前期比較		
	金額	売上高比率(%)	金額	売上高比率(%)	金額	売上高比率(%)	増減率(%)
売上高	40,234		44,563		4,329		10.8
売上原価	22,536	56.0	24,860	55.8	2,324	△ 0.2	10.3
販売費及び一般管理費	12,383	30.8	13,447	30.2	1,064	△ 0.6	8.6
販売促進費	1,003	2.5	991	2.2	▲ 12	△ 0.3	△ 1.2
広告宣伝費	1,321	3.3	1,713	3.8	392	0.5	29.7
運賃保管料	3,707	9.2	3,998	9.0	291	△ 0.2	7.8
給料手当	2,093	5.2	2,223	5.0	130	△ 0.2	6.2
賞与引当金繰入額	723	1.8	689	1.5	▲ 34	△ 0.3	△ 4.7
その他	3,534	8.8	3,830	8.6	296	△ 0.2	8.4
営業利益	5,314	13.2	6,255	14.0	941	0.8	17.7
営業外収益	474	1.2	551	1.2	77	0.0	16.2
営業外費用	79	0.2	70	0.2	▲ 9	△ 0.0	△ 12.4
経常利益	5,708	14.2	6,736	15.1	1,028	0.9	18.0
特別利益	0	0.0	1	0.0	1	0.0	174.0
特別損失	143	0.4	125	0.3	▲ 18	△ 0.1	△ 12.7
税金等調整前四半期純利益	5,565	13.8	6,612	14.8	1,047	1.0	18.8
法人税等	1,503	3.7	1,716	3.9	213	0.2	14.2
四半期純利益	4,061	10.1	4,895	11.0	834	0.9	20.5
非支配株主に帰属する四半期純利益	48	0.1	64	0.1	16	0.0	34.6
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,013	10.0	4,830	10.8	817	0.8	20.4

## ② セグメント情報

(単位:百万円)

事業	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	増減額	増減率(%)
食料品製造				
売上高	38,672	42,646	3,974	10.3
(売上高構成比)	(96.1%)	(95.7%)		
セグメント利益	5,219	6,150	931	17.9
食料卸売				
売上高	1,012	1,275	263	25.9
(売上高構成比)	(2.5%)	(2.9%)		
セグメント利益又は損失(▲)	▲ 10	37	47	—
不動産及びサービス				
売上高	418	500	82	19.7
(売上高構成比)	(1.1%)	(1.1%)		
セグメント利益	166	247	81	48.7
その他				
売上高	130	141	11	8.7
(売上高構成比)	(0.3%)	(0.3%)		
セグメント利益	29	27	▲ 2	△ 6.9

(注) 売上高は外部顧客への売上高を表示しております。

## ③ 食料品製造事業 売上高・営業利益

(単位:百万円)

	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	増減額	増減率(%)
連結売上高	40,234	44,563	4,329	10.8
営業利益	5,314	6,255	941	17.7
食料品製造 売上高	38,672	42,646	3,974	10.3
営業利益	5,219	6,150	931	17.9
菓子食品 売上高	20,092	21,115	1,023	5.1
営業利益	1,680	1,850	170	10.1
冷菓 売上高	11,804	11,806	2	0.0
営業利益	2,576	2,189	▲ 387	△ 15.0
健康 売上高	6,775	9,723	2,948	43.5
営業利益	961	2,110	1,149	119.5

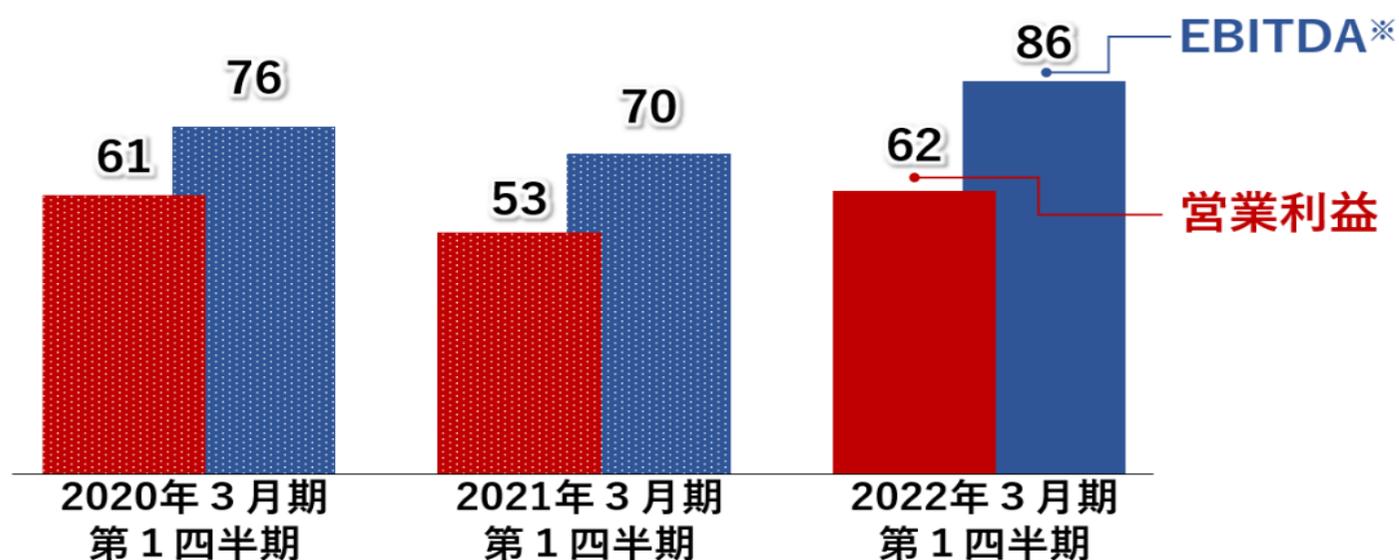
(注) 売上高は外部顧客への売上高を表示しております。

国内売上高	35,860	38,912	3,052	8.5
海外売上高	2,812	3,733	921	32.7

海外売上高比率(対連結売上高)	7.0%	8.4%
-----------------	------	------

## ④ 営業利益及びEBITDA推移

(単位:億円)



※EBITDAは簡易版を使用→営業利益+減価償却費